

“高脂血症”

高脂血症を治療する目的は動脈硬化を防ぐこと、特に、急性心筋梗塞を防ぐことです。急性心筋梗塞で亡くなる方の約半分は病院にたどりつく前に亡くなっています。しかも、元気で働き盛り、一家の大黒柱といった方を、なんの前触れもなく突然襲う病気でもありますので、急性心筋梗塞ほど予防が重要な疾患はないと思われます。

健診などで高脂血症を指摘された場合、食事療法で経過を見ている余裕があるのか、すぐに治療を開始した方が良いのかの判断が大切と思われます。心臓の動脈硬化を直接評価することは外来ではできませんが、頸動脈を超音波で観察することで心臓の動脈硬化を推測することができます。心臓の動脈と頸動脈は位置的に近く、動脈硬化の程度も似ていることが分かっています。当院では希望される方には頸動脈エコーを受けていただき、動脈硬化の程度を評価して内服治療の適応を検討しています。